

# 賀寿 長寿のお祝い早見表 還暦・喜寿・米寿早見表 2016年 平成28年版

賀寿(がじゅ) 長寿のお祝い早見表2016年版です。

「おばあちゃん、おじいちゃんのお祝いは今年だったかな？」という方、チェックして下さいね。

長寿のお祝いは、数え年が下記に該当する場合におこないます。(近年では、満年齢で祝う場合も)

数え年とは、生まれた年を1歳として、以降、元日を迎えるたびに1歳を加える数え方です。

例えば、12月31日に誕生した場合、翌日(1月1日)には数え年で2歳になります。

今年、誕生日を迎えた人は、「満年齢+1=数え年」になります。

しかし今年の誕生日を迎えていない人は、「満年齢-1=実際の年齢」で、「実際の年齢+2=数え年」となります。

緑寿(数え年66歳。2002年に新設)と、半寿(数え年81歳。傘寿の翌年)は、お祝いしない家庭もあります。

還暦は満年齢60歳ですのですが、それ以降のご長寿のお祝いはすべて数え年でお祝いすることになっています。

数え年 (満年齢)	生まれ年	賀寿 お祝い名称	お祝い色	名称の由来
61歳 (満60歳)	1956年 昭和31年生 (申)	還暦 (かんれき)	赤 (朱)	還暦は干支(十干十二支の60通り)が一巡し、生まれた年の干支に戻るため「暦が還る」という意味で還暦。また「赤子に還る」という意味合いから、赤いちゃんちゃんこ、赤い帽子、赤い座布団などを着用し、長寿の願いを込めて祝います。
66歳 (満65歳)	1951年 昭和26年生 (卯)	緑寿 (ろくじゅ)	緑	99、88、77歳の賀寿はあるのに66の賀寿が無かった為、2002年9月、日本百貨店協会が提唱。66歳は「緑」の読み「ろく」から緑緑となる為。緑々寿の略。
70歳 (満69歳)	1947年 昭和22年生 (亥)	古希・古稀 (こき)	紫 (紺)	唐(中国)の詩人、杜甫の「人生七十 古来稀也」から。昔は「70歳まで生きることは古来より稀」だったのです。
77歳 (満76歳)	1940年 昭和15年生 (辰)	喜寿 (きじゅ)	紫 (紺、黄)	喜の字を草書体で書くと、七を3つ書くが、それが七十七に見える事から。
80歳 (満79歳)	1937年 昭和12年生 (丑)	傘寿 (さんじゅ)	紫 (黄、金、 金茶)	傘の略字「傘」が「八十」に見える事から。
81歳 (満80歳)	1936年 昭和11年生 (子)	半寿・盤寿 (はんじゅ)	黄、金、 金茶	半の字を分解すると「八十一」に見える事から。将棋の世界では、将棋盤のマス目の数が $9 \times 9 = 81$ ある事から「盤寿」(ばんじゅ)と言う。
88歳 (満87歳)	1929年 昭和4年生 (巳)	米寿 (べいじゅ)	黄、金、 金茶	米の字を分解すると「八十八」に見える事から。88歳は(米の祝い)とも言われ、米文化の日本と末広がりの八の字2重ねで、おめでたいと言われています。
90歳 (満89歳)	1927年 昭和2年生 (卯)	卒寿・傘寿 (そつじゅ)	紫 (白、黄、 金、金茶)	卒は略字で「卒」と記載する。縦に読むと「九十」に見える事から。
99歳 (満98歳)	1918年 大正7年生 (午)	白寿 (はくじゅ)	白	九十九は、百から一を取ることから、百の上部の一を取ると白の漢字になる為。
100歳 (満99歳)	1917年 大正6年生 (巳)	百寿 (ももじゅ・ ひゃくじゅ)	100歳以上 基調色無	百賀(ももが)と言ったり、寿命を上・中・下の三段階に分けた、最も上の段階の上寿(じょうじゅ)と言ったり、100年は一世紀を表わすことから「紀寿」(きじゅ)とも言う。

## その他の長寿のお祝い

■ 珍寿(ちんじゅ)95歳?、110歳?、112歳?や、天寿(てんじゅ)118歳?250歳?のお祝い名称等も有。

■ 100歳以降は毎年祝う家庭も。101歳は「百一賀の祝い」(ひゃくいちが)、102歳は「百二賀の祝い」・・・

■ 108歳(満107歳)は、茶寿(ちゃじゅ)。「茶」を分解すると「十十の下に八十八」に見えるから。 $20 + 88 = 108$ 歳 不卒(ふわく)とも言う。「卒」の字を分解すると「十、八、九十」に見えるから。 $10 + 8 + 90 = 108$ 歳。

■ 111歳(満110歳)は、皇寿(こうじゅ)。「皇」を分解すると「白(百より一を引いた99)、一、十、一」になることから。 $99 + 1 + 2 + 1 = 111$ 歳。川寿(せんじゅ)とも言う。「川」が111と読めるため。

■ 119歳(満118歳)は、頑寿(がんじゅ)。「頑」を分解すると「二、八、百、一、八」に見えるから。 $2 + 8 + 100 + 1 + 8 = 119$ 歳

■ 120歳(満119歳)は、大還暦(だいかんれき)。2回目の還暦を迎えるということから。 $2 \times 60 = 120$ 歳。昔寿(せきじゅ)とも言う。「昔」の字を分解すると「廿(20)、百」に見える事から。 $20 + 100 = 120$ 歳。